

ワークショップの開催日程(予定)

第1回ワークショップ (5月27日) テーマ=緑・水・生物

第2回ワークショップ (6月17日) テーマ=公害・食

第3回ワークショップ (7月26日) テーマ=道路交通・景観・歴史

第4回ワークショップ (8月19日) テーマ=ごみ

第5回ワークショップ (9月23日) テーマ=地球環境

第6回ワークショップ (10月21日) 総括(まちの将来像など)

第1回オープンハウスの開催概要(報告)

ワークショップの他に、市民の方が気軽に立ち寄り、計画の見直しについて意見を述べる機会として、第1回オープンハウスを開催しました(来場者1名)。

ワークショップで出された意見(模造紙)をご覧になりながら、今後の意見の取扱いについて質問されました。

次回は8月9日(木)午前9時30分から午後9時まで室内プール3階体育室で開催する予定です。詳しくは8月1日号市報をご覧ください。



※環境基本計画の見直しについて、ご意見・ご要望があれば、下記宛までお問い合わせください。

【連絡先】 国分寺市 環境計画課 環境計画係
 (〒185-0013 西恋ヶ窪4-9-8 清掃センター敷地内)
 電話: 042(328)2192 FAX: 042(326)4410
 Eメール: kankyoukeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

環境基本計画

<第2号>



市民ワークショップ ニュース



発行日:平成24年7月6日
 編集:国分寺市環境計画課

電話:042(328)2192
 Eメール:kankyoukeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

第2回ワークショップでは、「公害・食」をテーマに、現状の把握、課題について話し合い、望ましい将来像について検討しました!!

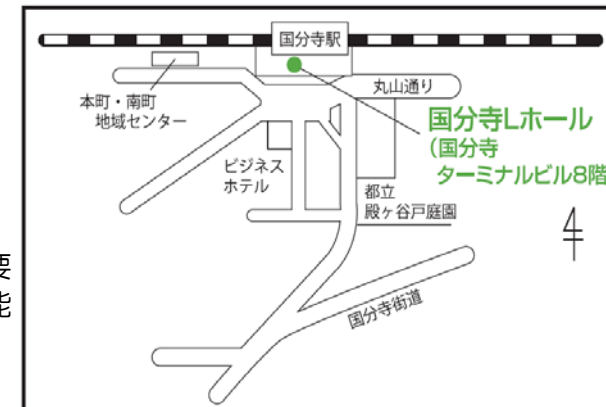
- 平成16年3月策定の「国分寺市環境基本計画」が平成25年度で計画期間を満了するため、次期計画を策定するにあたり、市民参加のワークショップ(以下、「WS」と表記します。)を開催しています。WSは5月から10月までの間、月1回開催し、テーマごとに、現状の把握、課題の抽出、望ましい将来像について検討します。
- 6月17日(日)に第2回WSを開催し、参加者16名が3グループに分かれて、意見交換を行い、グループごとに望ましい将来像などについて発表しました。



第3回ワークショップのお知らせ ※今回の検討テーマは「道路交通・歴史・景観」です。ご参加をお待ちしています。

日時:平成24年7月26日(木)
 午後7時から午後9時30分まで
 場所:国分寺Lホール(駅ビル8階)
 電話042(327)1139

(注意)ワークショップ参加を希望される方は事前登録が必要です。上記環境計画課までご連絡ください。傍聴可能



3グループの発表内容は以下のとおりです！

※紙面の都合上、一部意見を省略しています。

グループ討議では、公害に関して、「市内には大きな工場がなく、大気や水質など環境基準を大きく上回るような調査結果はなく、比較的良好な環境が保たれていると思うが、今後もモニタリング調査を実施する必要がある。」「放射線は、引き続き空間放射線や給食食材の放射性物質測定を継続すべきである。」「放射線の除染方法の周知が必要」などの意見がありました。概要以下のとおり。

食に関しては、国分寺ブランドの育成・PRのほか、「災害時における地場産野菜の緊急供給の仕組みづくりが必要」といった防災面に関連した意見がありました。

次回は『道路交通・景観・歴史』をテーマに意見交換を行います（詳しくは前面をご覧ください）。なお、環境基本計画に関するご意見があれば、環境計画課までご連絡ください。

A 班

【公害】※現状と課題

(大気・騒音)

- 自動車のCO2対策が必要である。
- 大気汚染の軽減のために再生可能エネルギーの推進
- 野焼きの禁止について、市民へ周知する必要がある。
- 都市計画道路3・4・6号線と3・2・8号線の完成後の大気汚染と騒音が心配である。

(化学物質)

- 化学物質について、有害・無害なものを市民に分かりやすく情報提供してほしい。
- 農薬を大量散布しないよう注意してほしい

(水)

- むかしの井戸の水質検査が必要である。

【食】※現状と課題

(農地利用)

- 農産物販売所のPR、減農薬、有機栽培のPRがもっと必要である。
- 農地利用を推進するため市民農園の拡大が必要である。

(地域マネー)

- 国分寺ブランドや地産地消を地域マネーと連携により、地域振興につなげる。
- 国分寺ブランドをPRするための機会として、ぶんぶんウォークに続き、イベントを開催する。

(食品の安全)

- 地元の農産物などの安全性をアピールできるよう、食品の衛生検査などを実施する。

B 班

【公害】※現状と課題

(大気汚染)

- 大気汚染状況を確認するため、自動車の排気ガス測定の継続
- 車の排気ガス削減には交通渋滞の解消が必要である。

(水)

- 地下水脈の調査・研究の実施、酸性雨のモニタリングの継続が必要。
- 雨水浸透ますの設置促進

(騒音)

- 狭い道路における自動車のスピード規制が必要である。
- 国分寺駅北口のバス通りの交通問題（狭くて危険）の解決方向

(化学物質)

- 井戸水における化学物質の調査（水質調査）の継続

(その他（放射線）)

- 空間放射線や給食食材の放射性物資のモニタリングの継続
- 放射線軽減（除染）方法の徹底（市民への周知）

【食】※現状と課題

(食生活)

- 都市農業の継続可能な仕組みづくり
- 学校給食残さのたい肥化（食の循環）を促進する

(地産地消)

- 道の駅の設置や市民農園の増設
- 災害時の農作物を市内で供給できる仕組みづくり
- （農産物などの）ブランド化推進（補助金や奨励金の検討）
- 国分寺ブランド品（農産物など）の育成やPR
- 市全体の農家（農業）の競争力UP

C 班

【公害】※現状と課題

(大気)

- ハイブリッド車や電気自動車の利用促進
- 排ガス対策として、交通渋滞を解消するための道路整備が必要。

(ごみ処理)

- ごみ処理施設における低公害化

(渋滞解消)

- 戸倉4丁目～東戸倉1丁目交差点間の自動車の速度規制が必要

(水・土壌)

- 合成洗剤、農薬、除草剤による水汚染が問題である。

- 雨水浸透ます設置の推進・雨水タンク設置補助

(騒音・振動)

- 自動車騒音低減のためにも道路交通網の整備が必要である。

【食】※現状と課題

(食生活)

- 自然食品の普及支援・旬産旬消の推進・食育の推進

- 食の安全として有機農業の推進（有機農業の指定・PRなど）

(地産地消)

- 生産者の顔の見える化の一層の促進

- 消費者と農業者との交流促進（農ウォークなど）

- 市民の理解 農を守る心 新鮮な物を食べる喜び 環境を守ってくれる

- ブランド品の育成

- 学校給食やレストラン（ランチなど）等での地場産野菜使用を促進する。

<望ましい将来像>

清涼な環境と豊かな食の田園都市

<望ましい将来像>

分析から改善の時代－生活との調和－

<望ましい将来像>

持続可能な循環型社会